

令和7年
2025年

3月25日
火曜日

第11677号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



オルビスが群馬県庁で4カ国のビーフステーキ食べ比べイベント実施……P4

注目のヘッドライン

ビセラル、新社屋竣工を記念して祝賀会開催

ビセラル株は23日、このほどの新社屋竣工を祈念して、東京都台東区の浅草ビューホテルで新社屋完成記念パーティーを開催した。

…詳細はP2

日本食肉生産技術開発センターが、血斑低減に関するマニュアル普及セミナー開催①

…詳細はP2~3

- ▶ ビセラル、新社屋竣工を記念して祝賀会開催…P2
- ▶ 日本食肉生産技術開発センターが血斑低減に関するマニュアル普及セミナー開催①……P2~3
- ▶ 3月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の157万7千頭……P3
- ▶ オルビスが群馬県庁で4カ国のビーフステーキ食べ比べイベント実施……P4
- ▶ 米国と英国で鳥フル、家禽肉等の輸入一時停止……P4
- ▶ [SM販売統計調査2月]畜産品の売上高は前年同月比0.7%増……P5
- ▶ [役員人事]丸大食品(4月1日付)……P5
- ▶ [肉豚出荷予測]4~6月は1.6%増、8月は5.7%増……P6
- ▶ 【人事異動】マルイチ産商(6月24日付)……P6
- ▶ EU農畜産業界、米国への報復関税による影響を懸念……P7
- ▶ 【輸入副生物現物相場】入船遅れで焼き材の需給はタイトに、GWにかけて一段高か……P8
- ▶ オリジン、牛ハラミ焼肉弁当セール開催……P8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況<和牛・交雑牛・乳牛チルド>……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]24日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]24日……P11



Nipponham Group
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

ビセラル、新社屋竣工を記念して祝賀会開催

ビセラル(株)は23日、このほどの新社屋竣工を祈念して、東京都台東区の浅草ビューホテルで新社屋完成記念パーティーを開催した。

冒頭、鈴木幸廣社長(上写真)は「昨年11月中旬、創業の地であり、61年間営業活動の拠点であった足立区鹿浜から、同じく足立区の新田に本社所在地を移し、ビセラルの歴史の第2章が始まった」「新社屋の設備を使い、効率の良い作業をモットーに、歴代の役員・社員が築き上げてきたノウハウを生かし、増収増益に向けて社員一同で事業にまい進する所存だ」とあいさつ。

続いて、来賓を代表して日鉄物産(株)の伊倉真人執行役員、兼松(株)の橋本徹執行役員が祝辞を述べ、りんかい日産建設(株)の永尾秀司社長が音頭を取って乾杯した。ビセラルの社員や業界関係者らが一堂に会し、タレントによる演芸でも会場がにぎわう中、情報交換をしながら親睦を深めた。

その後、日本ハムの前田文男専務が中締めで「昨今は逆風で厳しい状況にある中、皆さまと手を携えて、この業界をしっかりと盛り上げていかなければならない」「ビセラルのように、内臓肉の付加価値を上げていくことも非常に重要。それぞれが知恵を出し合ってこの業界を盛り上げていく、大事な局面にある」とあいさつ。



最後に、ビセラルの取締役・営業本部兼製造本部の留目克弘本部長が「本日ご出席の皆さまからいただいた励ましや激励の言葉を胸に刻み、ビセラルのさらなる発展を目指し、役員・社員で一丸となり、これからも精進する」と閉会の辞を述べ、閉会した。

日本食肉生産技術開発センターが 血斑低減に関するマニュアル普及セミナー開催①

公益(財)日本食肉生産技術開発センター(宮坂亘理事長)は21日、東京都千代田区のKDDIホールの会場とZOOMを併用し、令和6年度血斑低減に関するマニュアル普及セミナーを開催した。

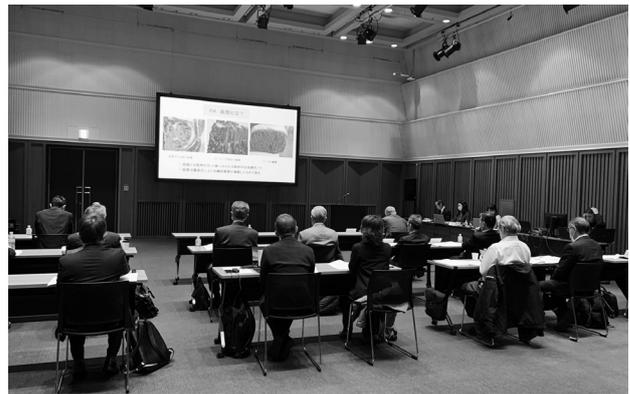
米国へ牛肉を輸出すると畜場および食肉処理施設は、「アメリカ合衆国向け輸出食肉の取扱要綱」に基づいて、と畜・解体などを行う必要があり、この対米輸出要綱では、と畜時に牛をつり下げた状態でスティッキングすること(懸垂方式)が求められており、これに伴い、米国向け輸出牛肉の認定食肉処理施設では従来の横臥方式より血斑発生が増加している状

況にある。そのため、3年3月に「牛のと畜・解体技術の改善マニュアル」を作成し、その普及を図り、その後、血斑低減に向けてさらなる調査・検討を行い、新たな知見を加え、このほど「牛肉の血斑を低減する技術マニュアル」として「牛のと畜・解体技術の改善について」(改訂版)を作成した。その内容についてのセミナーを開催したもの。

冒頭の主催者あいさつで木下良智専務理事は「食肉処理施設関係者、食肉流通関係者、研究機関、行政、自治体などZOOM参加も含め、100人近い人にご参加いただき、血斑の問題への関心の高さがうか

がわれる。本日のセミナーと改訂版マニュアルが、血斑低減と輸出拡大に資するものとなれば幸いだ」と述べた。

セミナーでは改訂版作成に当たった対米輸出牛肉血斑低減フォローアップ推進委員会の入江正和委員長(独家畜改良センター理事長)が、ZOOMでマニュアルの説明を行った(写真)。前段で対米輸出要項の規定について触れた後、「対米輸出施設ではその他の食肉処理施設と比べて血斑の発生率が増加していることが問題視されている。血斑はシミやスポット、また、多発性筋出血ともいい、筋肉のカット面にみられるまだら状の出血痕をいう。血痕は黒く凝固するため、肉に生じたシミのように観察される。血斑は放血が不十分で血液が残ったもの(残血)ではなく、主に高血圧(体全体のみでなく部分的なものを含む)による毛細血管の破裂が原因と考えられており、適切にと畜・放血された場合であっても発生することがある。血斑の発生はわが国だけでなく、欧米諸国においても問題視されている。しかし、欧米では食卓には焼いた塊の肉が並ぶだけで、わが国のように明るい照明の食卓に薄い精肉が並ぶことはなく、血斑は精肉の見栄えを重視するわが国でとくに重要な問題といえよう。枝肉格付において血斑は枝肉等級には



影響しないが、^{かし}瑕疵の一つとして扱われ、『A』の朱印が等級表示と並んでスタンプされる。通常、取引価格が下がるので、農家にも経済的影響を与え、流通上でも問題になる。また、格付時に外見上検出されなかった場合には流通業者や飲食店に経済的被害を与えることもあるため、商業上のさまざまなトラブルのもととなる。日本食肉格付協会のデータによって対米輸出施設(10カ所)とそれ以外の施設の血斑発生率を比較すると、2017~19年の黒毛和種牛のデータにおいて、対米輸出施設で4.0~4.8%だったが、それ以外の施設では0.4~0.5%であり、対米輸出施設での血斑発生率が明らかに高かった」と述べた。(連載続く)

3月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の157万7千頭

米国農務省(USDA)が公表した3月1日現在の牛フィードロット飼養頭数(1千頭以上収容)は1157万7千頭と前月より13万9千頭減少し、前年同月より2%減少した。州別の飼養頭数は表のとおり。

導入頭数をみると、2月は前月より26万8千頭減少して155万4千頭となり、前年同月より18%減と大きく減少した。導入頭数を体重別にみると600ポンド未満が29万5千頭、600~699ポンドが27万5千頭、700~799ポンドが41万5千頭、800~899ポンドが38万9千頭、900~999ポンドが13万頭、1千ポンド以上は5万頭だった。

また、2月の出荷頭数は163万3千頭と前月より23万6千頭減少し、前年同月より9%減少した。

単位:頭数は千頭、割合はパーセント

州	2024/3/1	2025/2/1	2025/3/1	前年比(%)	前月比(%)
アリゾナ	258	231	227	88	98
カリフォルニア	520	520	510	98	98
コロラド	1,020	1,030	1,010	99	98
アイダホ	345	335	335	97	100
アイオワ	650	670	670	103	100
カンザス	2,400	2,370	2,320	97	98
ミネソタ	105	-	-	-	-
ネブラスカ	2,560	2,590	2,590	101	100
オクラホマ	330	345	340	103	99
サウスダコタ	245	230	235	96	102
テキサス	2,820	2,700	2,640	94	98
ワシントン	255	255	260	102	102
その他	330	440	440	133	100
米国	11,838	11,716	11,577	98	99

オルビスが群馬県庁で4カ国のビーフステーキ食べ比べイベント実施

国産から輸入まで銘柄肉を含めた牛、豚、鶏肉をはじめ、内臓肉や羊肉、ジビエなどのグルメミート、食肉加工品などあらゆる食肉を取り扱う(株)オルビス(群馬県高崎市、大熊章之社長)は23日、前橋市の群馬県庁内「ギンガム」で4カ国のステーキ肉を食べ比べできる消費者イベント「ステーキ食べ比べフェス」(共催=(株)上毛新聞、協賛=兼松食品(株)、後援=(株)群馬県食肉卸売市場、米国食肉輸出連合会、MLA豪州食肉家畜生産者事業団)を開催した。

イベントでは、日本の牛肉消費において、主要な国産牛(上州牛)、米国産、豪州産、カナダ産のサーロインをそれぞれ焼き上げ、4種類合計200gを提供(上写真)。そのほか、オルビスでは青果も扱っており、サラダといちごやパイナップルなど数種類のカットフルーツもセットになった、豪華なプレートを提供。たくさんの人に楽しんでもらいたいという思いから参加費用は500円と破格で、小学生以下は無料。約600人分が用意されたが、日曜日ということもあり、開始時間の11時を前に数百人が列を作る大盛況となり、小さな子供を含めた家族連れの姿も目立った。

参加した人からは「国産と輸入ということだけでなく、どれも味の違いがあり、それぞれおいしかった」「子供が食べやすいお肉、大人の好きなお肉など、好みによってもおいしいお肉は変わることが分かった」「こうして食べ比べという形で味わえることはないので、とても良い経験になった」などの感想がきかれた。

大熊社長は「一般消費者に向けて、こうした形で食べ比べイベントを実施するのは当社としても初の試み。多くの方にさまざまな国の牛肉を一度に楽しんでもらいたいという感謝の思いも込めて行っている。群



馬県は全国でも上位の畜産県でありながら、食肉消費量は最下位に近く、食肉業界に携わる者として、地元の消費を盛り上げたいという想いは強い。地元産、国産のみならず、食肉消費全体を底上げしていきたい」と意欲を語った。

なお、大熊社長は、4月12、13日にかけて高崎市のもてなし広場で開催される「群馬 お肉の祭典2025 in Takasaki」(主催=群馬お肉の祭典実行委員会)の実行委員長も務めている。今年で9回目の開催となる同イベントは、これまでに2日間合計で5万人以上が来場した実績があり、県内屈指の開催規模と集客数を誇る。今回も34の飲食店が参加を予定している。

米国と英国で鳥フル、家禽肉等の輸入一時停止

農水省動物検疫所はこのほど、英国および米国の家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、次の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等について21日から輸入を一時

停止した。

英国インバネス州、ネアン州▷米国モンタナ州ギャラティン郡、カンザス州バトラー郡

【SM販売統計調査2月】畜産品の売上高は前年同月比0・7%増

日本スーパーマーケット協会など流通3団体がまとめたスーパーマーケット販売統計調査資料によると、2月の食料品売上高は9287億8229万円(全店ベース前年同月比3・5%増)となった。

畜産品の売上高は1185億2187万円(0・7%増)で、全般的に相場高が継続しており、部門としての伸び悩みと鶏肉への需要シフトが続いている。牛肉は引き続き、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが販売の中心となったが、前年並みを確保した。豚肉は国産豚の価格上昇もあり伸び悩んだ。鶏肉は気温

低下による鍋需要も追い風に好調となった店舗が多い。ハムなどの加工肉は回復傾向となったが、価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。

総菜の売

上高は1067億103万円(2・6%増)で、前年より営業日が1日少ない影響もあったが、米の価格高騰により米飯類、青果相場の高騰による総菜類の需要増傾向が続いている。低い気温の影響で、揚げ物や麺類などホットメニューが好調な一方で、サラダ、すし関連は伸び悩んだ店舗が多い。恵方巻は曜日めぐりや天候の影響がみられ、単価上昇もありーフサイズなどへのシフトもみられた。価格改定が進む一方、利益確保やロス管理が難しいとのコメントがみられた。

スーパーマーケット統計調査

2月	売上高	全店	既存店	エリア別集計	既存店
		前年同月比			前年同月比
総販売額	100,591,492	103.2%	102.4%	北海道・東北	101.3%
食料品	92,878,229	103.5%	102.6%	関東	103.2%
生鮮3部門合計	34,637,679	103.2%	102.2%	中部	102.0%
青果	14,349,971	108.2%	107.3%	近畿	102.7%
水産	8,435,521	98.7%	97.7%	中国・四国	103.6%
畜産	11,852,187	100.7%	99.7%	九州・沖縄	100.9%
総菜	10,670,103	102.6%	101.1%		
日配	20,003,338	102.6%	101.1%		
一般食品	27,567,109	105.1%	104.4%		
非食品	5,434,019	99.0%	98.9%		
その他	2,279,303	102.2%	102.1%		

※集計企業270社・8391店舗

JSA(日本SM協会)全国スーパーマーケット協会 AJS(オール日本SM協会)

【役員人事】丸大食品(4月1日付)

丸大食品は24日、4月1日付の役員人事を発表した。概要は次のとおり。

[取締役の昇格および職務変更(2025年4月1日付)] 専務取締役食肉事業部長、品質保証部担当(常務取締役食肉事業部長丸大ミート)代表取締役社長 福島成樹▽取締役(株)丸大サービス代表取締役社長(取締役総務人事部、品質保証部担当丸大サービス代表取締役社長) 田中利雄

[新任取締役候補](2025年6月下旬予定) 取

締役経理部長(上席執行役員経理部長) 森本芳史
▽取締役ハムソー事業部長(上席執行役員ハムソー事業部長) 池田知功▽取締役(社外) 中野由里

[退任予定取締役](2025年6月下旬予定) 名誉会長(取締役会長) 百濟徳男▽丸大サービス代表取締役社長(取締役丸大サービス代表取締役社長) 田中利雄▽任期満了による退任(取締役(社外)) 金子啓子

【肉豚出荷予測】 4～6月は1・6%増、8月は5・7%増

農水省食肉鶏卵課は21日、2～8月の肉豚出荷予測を公表した。

2月は128万3千頭で前年を6・7%下回り、過去5年平均(平年)との比較でも平年を下回る見通しと

なっている。

3月は137万1千頭と前年並みで平年を下回る見通し。1～3月は405万8千頭(2・5%減)で平年を下回る見通しとなっている。

〔肉豚出荷動向予測〕

年・月	出荷・千頭	前年比%	1日あたり	価格
令和6年8	1,223	94.1	57,543	767
9	1,278	98.8	66,369	668
7～9月計	3,812	99.3	—	—
10	1,458	101.5	62,710	620
11	1,410	95.1	69,630	571
12	1,464	100.1	65,798	638
10～12月計	4,332	99.0	—	—
令和7年1	1,404	99.3	66,071	598
*2	1,283	93.3	70,301	—
*3	1,371	100.0	67,704	—
*1～3月計	4,058	97.5	—	—
*4	1,403	99.6	66,024	—
*5	1,342	98.7	66,272	—
*6	1,302	109.1	61,271	—
4～6月計	4,047	101.6	—	—
*7	1,306	99.6	58,697	—
*8	1,293	105.7	63,852	—

* 予想、単位：千頭、前年同月比%。* 1日あたりは本紙試算、価格は東京市場・極上・上

4月は140万3千頭(0・4%減)で平年並みの見通しとなっている。5月は134万2千頭(1・3%減)で平年を上回る見通しとなっている。6月は130万2千頭(9・1%増)で平年並みと予測している。4～6月は404万7千頭(1・6%増)で平年並みの見通しとなっている。7月は130万6千頭(0・4%減)で平年を上回る見通し。8月は129万3千頭(5・7%増)で平年並みと予測している。

【人事異動】 マルイチ産商 (6月24日付)

マルイチ産商は21日に開催した取締役会で、役員人事を決議した。正式には、6月24日の第75期定時株主総会および総会後の取締役会で決定する予定となっている。

〔取締役(監査等委員である取締役を除く)候補者〕代表取締役社長社長執行役員(再任) 柏木康全▷取締役常務執行役員社長補佐兼コーポレート本部長兼チーフ・コンプライアンス・オフィサー兼業務構造改革特命担当(取締役常務執行役員社長補佐兼コーポレート本部長) 仁科圭右▷取締役常務執行役員畜産事業部長(再任) 根橋博志▷取締役常務執行役員信州事業推進担当兼ロジスティクス担当兼水産事業部長兼事業構造改革特命担当(再任) 山田真史▷取締役執行役員養殖事業部長(再任) 二ノ宮潤▷取締役執行役員甲信・中京本部長兼長野支

社長(再任) 宮崎伸二▷取締役(社外取締役)(再任) 古舘正史▷取締役(社外取締役、三菱商事(株))(再任) 古賀隆宏

〔退任予定の取締役〕退任(チーフ・コンプライアンス・オフィサー兼業務構造改革特命担当) 佐野輝明

〔執行役員の異動〕執行役員出向(株)三共物商代表取締役社長(出向(株)三共物商代表取締役社長) 羽片義久▷執行役員デイリー商品本部長兼デイリー商品部長兼広域営業部長(デイリー商品本部長兼デイリー商品部長兼広域営業部長) 木下卓巳▷執行役員畜産事業部事業部長代行(畜産事業部事業部長代行) 風間直樹

〔退任執行役員〕退任(コーポレート戦略本部長付) 細萱誠

EU 農畜産業界、米国への報復関税による影響を懸念

欧州配合飼料生産者連盟 (FEFAC) はこのほど、米国の関税政策をめぐる欧州委員会が同日に発表した4月1日からの米国産輸入飼料穀物などを対象とした報復関税の実施に関し、大きな懸念を表明した。

同連盟のコルデロ会長は、「米国とEUは、長年にわたり飼料部門の戦略的パートナーシップにより世界の飼料や食料の安全保障などに貢献してきた」とした上で、EUが大豆やとうもろこし、リジンなどの

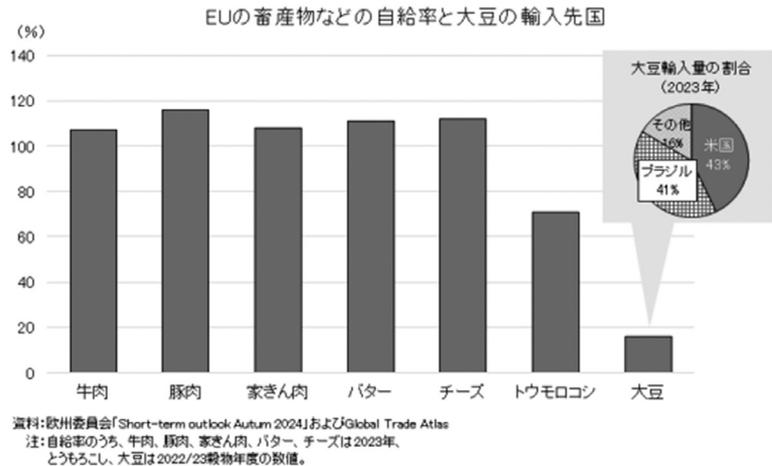
添加物を輸入に依存していることから、「今回の報復関税がEUの飼料サプライチェーンの混乱につながる可能性がある」との懸念を表わした。

欧州委員会が12日に発表した声明によると、米国が同日から実施した鉄鋼やアルミニウム製品に対する輸入関税への対抗措置として、4月1日以降、農産物を含む最大260億ユーロ(4兆846億円:1ユーロ=157・10円)相当の米国製品に報復関税を適用する可能性があるとされている。また、同委員会は、報復関税の対象製品について、EUの各業界団体などと協議した上で最終的に決定するとしている。

EUの畜産物生産に用いる飼料用タンパク質のうち、主に養豚や養鶏向けの配合飼料の原料となる大豆の輸入依存度が非常に高く、輸入量は米国(43%)とブラジル(41%)の2カ国で84%を占めている(図)。なお、大豆かすについては、自給率が4割程度であるものの、米国からの輸入量は全輸入量の5・2%にとどまっている。

オランダの金融機関ラボバンクの報告によると、EUが米国産大豆に対して報復関税を発動させた場合、大豆価格の上昇を招くことになり、EUの畜産物生産コストを上昇させ、生産者の収益性を悪化させる可能性が指摘されている。

①生産者団体は貿易摩擦の影響を懸念 EU最大の農業生産者団体である欧州農業組織委員会・欧州農業協同組合委員会(Copa-Cogeca)は、今回の米国とEUの貿易摩擦が、EUの農業分野に多大な



影響を与える可能性があるとして懸念を表明し、両政府が建設的な対話を行うことを求めた。さらに、今週にも代表団が米国を訪問して米国の生産者との関係強化に向けた取り組みを行うとした。

②EUの乳製品市場における報復関税の影響は限定的か 欧州の乳製品輸出団体である欧州乳製品輸出入・販売業者連合 (Eurolait) は、EUの報復関税の候補対象からチーズが除外されていることや、EUが米国から輸入する乳製品は少量であることから、報復関税によるEUの乳製品市場への影響は少ないとしつつも、26日までに実施されるEU当局との協議では、すべての乳製品を報復関税の対象から除外するよう求めるとした。また、前述のラボバンクの報告によると、米国がEUから輸入する乳製品の多くは高価格帯のチーズであり、米国がEU産乳製品に対して追加関税を設定した場合は、EUが代替市場をみつけることは容易ではないとされている。

③中国やメキシコ向け輸出の拡大を期待する豚肉産業 ドイツ養豚生産者協会 (ISN) は、現時点で不確実性が大きいとしつつも、中国が米国に対する報復関税として、豚肉などに10%の追加関税を設定したことを踏まえて、EU産豚肉が中国でのシェア(市場占有率)拡大が期待できる可能性があるとしている。また、今後、米国とメキシコとの間で関税による貿易摩擦が生じた場合には、メキシコ向け輸出も増加する可能性があるとしている。(農畜産業振興機構)

【輸入副生物現物相場】 入船遅れで焼き材の需給はタイトに、GW にかけて一段高か

歓送迎会や行楽需要などで一定の盛り上がり期待できる時期であることに加え、米国産牛肉・内臓の入船遅れもあって、全体的に需給はタイト。量販店は必要な玉がそろわず買い付けに動いているという声も。また、例年どおり、卸事業社の年度末の在庫調整による投げを見込んで、買いを控えていた事業者が「アテが外れた」という事情もあるようだ。

4月以降も、各社とも年度初めに玉が足りずに機会ロスを起こしたくないという思惑は同じであり、GWまで継続的な引き合いが見込まれる。相場も高値圏での推移が続いていることから、各社とも余剰在庫を持っていないこともあり、強含みの展開が続くだろう。GWが近づけば一段高の展開も。

直近の為替レートは150円を割って、140円台後半と、やや円高基調で推移しているが「設定レートは150～150円台前半であり、少し円高に振れたところで卸売価が変わることはない」(大手卸)と、当面、相場が下がる見込みは少ないとみる向きは多い。GW

明けに荷動きが止まっても、前述したように各社とも庫腹に余裕もあることから、投げ物が出ることは少なく、相場は高止まりしそうな気配だ。

一方、気温が一気に上昇し、オフシーズンに入った白物は、まだ一定の動きはある。原料高騰により、量販店の畜産売り場は松竹梅の「梅」のカテゴリーのラインアップが明らかに薄くなっており、精肉で値頃感

【輸入副生物現物相場】

円/キロ、税抜き

	商品名	原産地	規格	価格		気配
				価格	気配	
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国	グラス グラス	2500~2600	↑	
		豪州		2100~2200	→	
		欧州		1950~2050	→	
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2000~2100	↑	
		メキシコ		1800~	→	
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	3100~3300	↑	
		メキシコ		-	→	
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	1200~	↑	
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	→	
	レバー	豪州		320~		
		米国		350~	→	
	トライプ	-	1.5UP	-	→	
		豪州	700gUP 500gUP	-	→	
	スモール	米国		500	→	
	ラージ	米国		650~700	↑	
豪州			680~720	→		
アキレス	米国		1200	→		
テール	豪州		1000~1400	→		
メンブレン	豪州		600~	→		
チ ル ド	牛タン	米国	グレイン	2700~2900	↑	
		豪州		2500~2700	↑	
	牛タン(ムキタン)	米国		450~4700	↑	
	ハンギングテンダー (サガリ)	豪州		-	→	
		米国	チョイス プライム	2100~2300	↑	
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	2400~2700	↑	
				3100~3500	↑	
メキシコ			3500~	-		
			-	→		

を打ち出せる商品が慢性的に不足気味。そのため、タレ漬けホルモンなどを提案する企業が着実に増加している。この冬は例年より気温が低い時期が長かったこともあるが、そうした事情も重なり、ラージ、スモールとも荷余り感は少ない。夏場にかけても底堅い荷動きが続くものとみられる。

オリジン、牛ハラミ焼肉弁当セール開催

弁当・総菜専門店「キッチンオリジン」「オリジン弁当」を展開しているイオングループのオリジン東秀(株)(東京都調布市、後藤雅之社長)は24~28日、「牛ハラミ焼肉弁当」(税込み862円)、「DX牛ハラミ焼

肉弁当」(1050円)を50円引き、「肉W盛り牛ハラミ焼肉弁当」(1566円)を100円引きとなるお得なセールを開催する(イオン、ダイエー、マックスバリュ、カスミ、パレット内の店舗では実施しない)

[資料] 日本食肉流通センター一週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年2月23日~3月1日)

(単位:キログラム当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,564	4,531	5,255	4,605	5,318	近畿圏	3,456	4,320	4,320
カタ	3,564			3,723	3,801	3,698	6,542	3,675	3,848		3,942	3,861	7,309
カタバラ	2,160			2,506	3,635	2,871	1,037	2,139	2,389		3,132	2,550	1,286
マエセット	-			-	-	-	294	-	-		-	-	-
ヒ	-			-	-	-	875	-	-		-	-	-
ロイン	5,400			5,886	5,940	5,753	1,042	8,640	9,550		10,260	9,599	1,417
ロインセット	-			-	-	-	927	5,332	5,400		6,048	5,613	3,268
トモバラ	1,836			2,160	2,698	2,191	7,426	-	-		-	-	220
ウチモモ	3,487			4,459	4,459	4,168	2,364	1,836	2,388		3,348	2,520	7,578
シントアマ	3,863			4,320	4,611	4,292	2,938	3,797	4,320		4,320	4,248	1,539
ランイチ	4,104			4,536	4,546	4,356	2,618	3,628	4,320		4,320	4,261	1,377
ソトモモ	3,240			4,105	4,571	3,975	2,183	3,931	4,320		4,320	4,236	1,489
ス	1,851			2,052	2,155	2,029	1,930	-	-		-	-	902
モモセット	3,944			4,140	4,222	4,120	7,873	1,944	2,052		2,160	2,040	2,396
セット	3,592	4,044	4,399	3,988	23,771	3,240	3,672	3,888	3,628	10,830			
重量合計						67,138	3,456	3,672	4,320	3,779	7,545	56,450	
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	3,348	3,920	4,320	3,914	1,023	九州圏	3,456	3,564	4,050	3,696	1,021
		カタ	3,348	3,348	3,780	3,465	1,375		-	-	-	-	788
		カタバラ	-	-	-	-	960		-	-	-	-	363
		ヒ	-	-	-	-	381		-	-	-	-	262
		ロイン	-	-	-	-	490		-	-	-	-	275
		トモバラ	1,566	1,728	2,052	1,783	2,015		1,674	1,814	2,160	1,814	1,401
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	282
		シントアマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	424
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	224
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	695
		ス	-	-	-	-	-		-	-	-	-	502
		モモセット	3,564	3,672	4,082	3,730	1,583		-	-	-	-	-
		セット	3,510	3,510	3,722	3,561	3,192		3,410	3,858	4,095	3,817	6,569
		重量合計							11,019	3,410	3,858	4,095	3,817

(令和7年2月23日~3月1日)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,958	3,078	3,318	3,101	8,179	近畿圏	2,808	2,916	3,240
カタ	2,268			2,484	2,916	2,571	6,464	2,376	2,443		2,592	2,457	8,414
カタバラ	1,767			2,592	2,694	2,327	2,442	1,404	1,520		2,160	1,556	3,496
ヒ	5,846			6,156	6,621	6,193	2,730	6,264	6,617		6,880	6,596	3,594
ロイン	3,975			4,113	4,320	4,115	1,822	4,212	4,580		4,860	4,609	7,637
トモバラ	1,620			2,810	3,421	2,565	8,318	1,512	1,566		2,133	1,688	9,867
ウチモモ	2,301			2,484	2,592	2,503	3,358	2,376	2,484		2,646	2,506	5,755
シントアマ	2,403			2,700	2,916	2,676	3,177	2,376	2,592		2,727	2,589	5,076
ランイチ	2,538			2,594	3,024	2,689	2,982	2,484	2,598		2,715	2,606	6,206
ソトモモ	2,111			2,182	2,484	2,245	1,611	2,160	2,346		2,484	2,360	5,424
ス	1,458			1,566	1,620	1,555	2,149	1,490	1,579		1,652	1,572	6,717
モモセット	-			-	-	-	-	2,160	2,484		2,751	2,530	10,055
セット	2,601			2,922	3,263	2,895	34,451	2,916	3,110		3,186	3,114	44,339
重量合計								77,683	2,916		3,110	3,186	3,114

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,215	2,741	3,240	2,772	3,548	近畿圏	2,376	2,536	3,066
カタ	1,566			1,738	2,160	1,751	1,086	1,669	1,782		1,992	1,761	5,002
カタバラ	-			-	-	-	158	-	-		-	-	-
三角バラ	-			-	-	-	-	2,624	2,808		3,456	2,874	1,032
ブリスケット	-			-	-	-	-	1,242	1,242		1,431	1,281	2,831
ヒ	4,979			5,165	5,454	5,159	2,120	4,860	5,097		5,763	5,237	2,146
ロイン	3,167			3,294	3,456	3,308	1,039	3,240	3,240		3,942	3,426	4,760
トモバラ	1,242			2,160	2,697	2,011	4,058	1,171	1,404		3,132	1,744	4,147
ウチモモ	1,979			1,998	2,160	2,041	2,306	1,922	1,944		2,227	2,007	8,867
シントアマ	1,922			2,160	2,172	2,115	1,088	1,744	1,836		1,836	1,809	2,289
ランイチ	1,970			2,160	2,592	2,089	1,593	1,836	1,890		1,998	1,912	2,941
ソトモモ	-			-	-	-	811	1,836	1,998		2,808	2,166	3,128
ス	1,497			1,512	1,512	1,512	2,160	1,458	1,534		1,590	1,533	4,111
モモセット	2,406			2,417	2,417	2,414	17,273	1,778	1,892		1,979	1,879	29,103
重量合計						37,240	1,778	1,892	1,979	1,879	29,103	78,677	

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月24日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 194頭	高値	5,335	3,201	-	-	-
		安値	2,239	2,092	-	-	-
		平均	3,109	2,379	2,405	1,405	-
		頭数	160	32	1	1	-
	雌 B 2頭	高値	-	2,160	-	-	-
		安値	-	1,944	-	-	-
		平均	-	2,060	-	-	-
		頭数	-	2	-	-	-
	去 A 60頭	高値	2,897	2,250	-	-	-
		安値	2,162	2,052	-	-	-
		平均	2,369	2,165	-	1,647	-
		頭数	48	11	-	1	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 23頭	平均	-	1,654	1,454	1,349	-
		頭数	-	11	8	4	-
	雌 C 1頭	平均	-	1,182	-	-	-
		頭数	-	1	-	-	-
	去 B 4頭	平均	-	-	1,521	1,344	-
頭数		-	-	3	1	-	
去 C 1頭	平均	-	-	1,380	-	-	
	頭数	-	-	1	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	397 334	1,003 1,124	- 116.0	(競り)	(相対)	
				-	31	38

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,243	2,088	1,599	1,323	-
	B	-	-	-	1,120	1,107
和 去	A	2,262	2,201	1,925	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	851	851
	C	-	-	-	851	832
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,757	1,518	1,369	1,286	-
	C	-	-	1,299	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	-	907	886	907	886
	安値	-	583	551	443	97
	平均	616	607	586	540	453
	頭数	(1)	(345)	(412)	(221)	(145)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	659	624	612	561
	安値	-	658	518	432	216
	平均	-	658	551	577	447
	頭数	(-)	(2)	(6)	(8)	(15)

[大阪食肉卸売市場] 3月24日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,419	2,264	2,034	-	-
(頭数)	(3)	(4)	(3)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,302	2,189	-	-	-
(頭数)	(2)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,740	-	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	1,899	1,669	1,590	-	-
C	-	1,671	1,572	-	-
豚	-	703	638	563	489

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	3月24日	3月21日	(3月累計)
豚	66,800	64,500	1,009,400
成牛計	4,380	3,960	66,660
和牛雌	880	1,230	16,120
和牛去勢	1,240	730	17,560
乳牛雌	460	600	10,060
乳牛去勢	600	230	7,540
交雑雌	500	690	6,970
交雑去	700	480	8,280

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 3月24日

	1,397円	(前日 1,435円)
東京		
大阪	1,590円	(前日 1,399円)

[豚・全農建値] 3月24日

上	中	取引頭数	市況
608円	589円	1,196頭	急落

と畜 売買	牛 74頭 牛 36頭	豚 74頭 豚 208頭	牛概況 豚概況	もちあい 急伸
----------	----------------	-----------------	------------	------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月24日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	579 (590)	558 (573)	390	299	反落
宇都宮 [地]	592 (586)	582 (527)	1,677	66	もちあい
茨城 [地]	- (605)	- (591)	1,362	-	上場なし
群馬 [地]	599 (629)	525 (532)	2,299	667	反落
さいたま [中]	598 (608)	587 (593)	284	283	下押し
東京 [中]	607 (629)	586 (609)	1,003	1,124	急落
横浜 [中]	621 (622)	594 (598)	625	645	もちあい
山梨 [地]	- (-)	- (-)	103	41	休市
浜松 [地]	599 (593)	554 (552)	296	37	上伸
名古屋 [中]	600 (625)	540 (563)	978	264	反落
京都 [中]	650 (592)	636 (592)	102	108	もちあい
大阪 [中]	703 (642)	638 (640)	74	134	急伸
神戸 [中]	- (607)	- (600)	149	-	上場なし
岡山 [地]	664 (650)	631 (665)	277	363	強気配
広島 [中]	610 (613)	589 (588)	220	47	もちあい
福岡 [中]	598 (586)	565 (551)	577	114	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は22日。

[日本食肉流通センター] 3月17日～3月23日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 644,018 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,015	1,177	1,361	1,179	30,588
うで	724	752	853	775	46,895
ロース	1,067	1,134	1,428	1,172	46,889
ばら	1,134	1,274	1,430	1,279	54,229
もも	756	819	859	814	76,704
ヒレ	1,048	1,220	1,458	1,237	3,633
セット	889	976	1,032	969	385,080

◇近畿圏 総重量 333,718 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,106	1,231	1,298	1,218	25,199
うで	745	755	809	761	53,827
ロース	1,048	1,123	1,265	1,139	40,191
ばら	1,093	1,231	1,296	1,217	50,341
もも	733	761	841	772	84,206
ヒレ	1,058	1,218	1,322	1,210	4,386
セット	907	933	1,004	946	75,568

[食鳥正肉日経相場] 3月21日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	687	738	864	130
ムネ	358	391	505	132

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	692	738	1,010	9
ムネ	356	407	570	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月21日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,009	610	550	600	650
安値	720	371	290	360	350
平均	766	410	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする 食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します